



20th ANNIVERSARY
奈良県立図書情報館

奈良県立美術館特別展「奈良のモダン」美術をめぐる人々」関連展示

やまとめぐり

—あこがれの奈良—



大和名所独旅
江戸時代



改正絵入南都名所記
宝暦4年(1754)版/天保12年(1841)改

和州芳野山勝景図
貝原益軒 正徳3年(1713)

2026

1/6(火) - 2/26(木) 9:00 - 20:00

月曜休館 但し1/12(月祝)・2/23(月祝)は開館、1/13(火)・1/30(金)月末休館日・2/24(火)は休館

奈良県立図書情報館 3Fブリッジ



大和名所図会 卷之一(春日担茶屋)より
寛政3年(1791) 秋里籬島/竹原春朝斎

古事記や日本書紀に「国のまほろば」
(すばらしい場所)と記された大和・奈良は、
都が移ってからも一度は訪れたい憧れの
場所であり続けました。

本展では、奈良について記された紀行文
や文学作品・案内記などを所蔵資料から
ご紹介します。

人々を惹き付けた奈良の魅力とは？
本展で再発見していただければ幸いです。



奈良県立図書館情報館マスコット

目次

展示解説

大和への讚美	2
巡礼の旅	3
名所・歌枕をたずねて	5
旅のたのしみ	6
いにしえの美をもとめて	8
展示リスト	13
図書リスト	15



マークの資料は、当館 HP のまほろばデジタルライブラリー で画像を公開しています

本展における作品名・人名等は、新字体および一般に用いられる表記を採用しました。
(当館 OPAC の書誌情報と表記に差異があります)



まほろばデジタル
ライブラリー

大和への讚美

国のまほろば

「倭は国の真秀ろば たたなづく青垣 山籠れる倭し麗し」

(訳) 大和は国の中でもっともよいところだ。重なりあつた

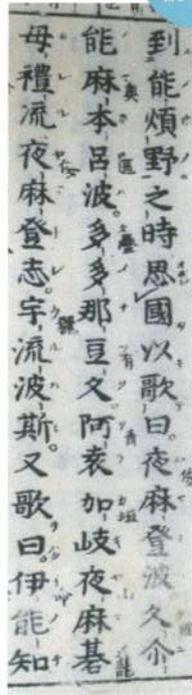
青い垣根の山、その中にこもっている大和は、美しい。

『新編日本古典文学全集1 古事記』

請求記号 918-28-1 資料ID 111012924

この歌は、東国征伐を終えた倭建命が死の間際に故郷大和を
思つて詠んだ歌として『古事記』中巻景行天皇に記されています。

原文で
読もう



「夜麻登波 久余

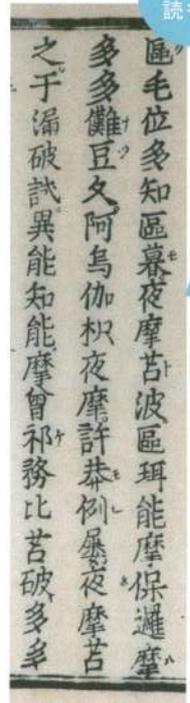
能麻本呂波 多多那豆久 阿袁加岐 夜麻碁

母禮流 夜麻登志宇流波斯」

1. 古事記 中巻
貞享4年(1687)跋

また、『日本書紀』巻第七 景行天皇十七年には、景行天皇が日向国
に遊んだ際に都(大和)を偲んで詠んだ歌として、『古事記』と同じ歌
が登場します。

原文で
読もう



2. 日本書紀 巻七
寛文9年(1669)

「夜摩苦波 區珥能摩保邏摩
多多難豆久 阿烏伽枳 夜摩許莽例屢 夜摩苦
之于漏破試 異能知能摩會祁務比苦破多糸

うまし国

『万葉集』巻第一には、舒明天皇が香具山で国見をした際の歌とし
て、次の歌があります。

「大和には 群山あれど とりよろふ 天の香具山 登り立ち

国見をすれば 国原は 煙立ち立つ 海原は 鷗立ち立つ

うまし国ぞ 蜻蛉島 大和の国は」

大和を表現した「うまし」には、素晴らしい・見事だの意味が
あります。

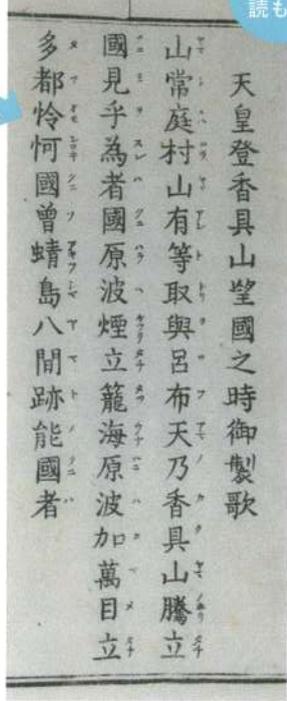
(訳) 大和には群山があるが、特に頼もしい天の香具山に 登り
立って国見をすると 広い平野にはかまどの煙があちこちか
ら立ち上っている 広い水面には かめめが盛んに飛び立っ
ている ほんとうに良い国だね(あきづ島) この大和の国は

『新編日本古典文学全集6 万葉集1』
請求記号 918-28-6 資料ID 151009137

ひらがなが
生まれる前、漢字を
使って音を
あらわしたよ!



原文で
読もう



3. 万葉集 卷第一
文化2年(1805)

あをによし

「山常庭 村山有等 取與呂布 天乃香具山騰立
國見乎為者 國原波 煙立龍 海原波 加萬目立
多都 怜何國曾 蜻嶋 八間跡能國者」

当館の本では
「怜何(うまし)
」の読みを
「おもしろき
」としています

同じ『万葉集』の巻第七には、小野老が大宰府に着任した

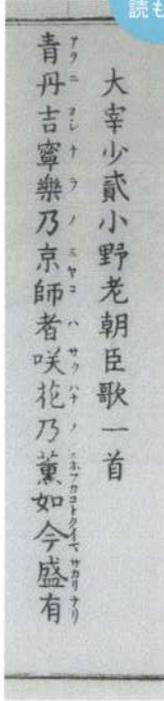
際の宴で、奈良の都を詠んだ歌として、次の歌があります。

「あをによし 奈良の都は 咲く花の 薫ふがごとく 今盛りなり」

(訳) (あをによし) 奈良の都は 咲く花が爛漫たるように 今真つ
盛りでした

『新編日本古典文学全集6 万葉集1』
請求記号 918-28-6 資料ID 151009137

原文で
読もう



4. 万葉集 卷第三
文化2年(1805)

「青丹吉 寧樂乃京師者 咲花乃 薫如 今盛有」

巡礼の旅

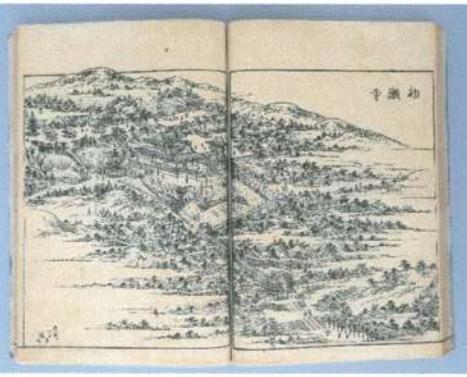
平安時代には貴族による巡礼の旅が行われるようになり、多くの人が大和を目指したことがわかっています。

藤原道長は、寛弘四年(1004)に御嶽詣(吉野 金峰山への参詣登山)をおこない、自ら書写した經典を埋納したことが日記『御堂関白記』に記録されています。

『栄花物語』巻第八には、その御嶽詣の利益として一条天皇の中宮となっていた娘 彰子の懐妊が叶ったことを「何となく御目に涙のうかせたまふにも、御嶽の御験にやと、あはれにうれしう思さるべし」と記しています。

(訳) 御目に涙を浮かせなさるにつけても、お心のうちには御嶽詣のご利益だらうかと感に堪えずうれしくお思いであろう。

『日本古典文学全集31 栄花物語3』
請求記号 918-28-33 資料ID 11101766654



まほ
デジ 6. 大和名所図会 卷之四 初瀬寺
寛政3年(1791)

その他、特に女性貴族の信仰が厚かったのが初瀬詣です。『枕草子』・『源氏物語』二十二帖 玉鬘・『更級日記』・『蜻蛉日記』など多くの文学作品に長谷観音に参詣する様子があらわされています。

これら文学作品のほか、大和巡礼の記録として著名なものに、平安時代(保延六年(1140))に大江親通が記した『七大寺巡礼私記』および『七大寺日記』があります。十二世紀前半の大和の寺々の堂舎や仏像についての見聞や故事が記された貴重な記録です。

(参考)『大日本仏教全書 寺誌叢書四』
請求記号 T85-1-8 資料 D 161059591

ここでは、建久二年(1191)に皇后の位にあった人物(詳細は不明)が大和巡礼をおこなった際の記録を紹介しします。書いたのは旅に同行した興福寺大乘院の実叡(じつゑい)という僧侶。当館蔵本は『南都諸大寺御巡礼次第』と題された江戸時代初期の写本ですが、同じ内容の本として『建久御巡礼記』『南都巡礼記』と題されたものが世に知られています。



まほ
デジ

5. 南都諸大寺御巡礼次第(今西文庫)
建久2年(1191)実叡/慶安4年(1651)写

春日社からはじまり、興福寺・東大寺・法華寺・西大寺・唐招提寺・薬師寺・元興寺・大安寺・法隆寺・当麻寺・長谷寺・新薬師寺・超昇寺を巡って都へお帰りになったという行程です。内容は、各社寺の由緒や縁起が中心ですが、平家による南都焼き討ち

から十年後の復興途上の奈良を見た記録ということになります。

(参考) 当館本は、まほろばデジタルライブラリーで画像を公開しています。また、同内容の本を活字にしたものとして、次の本があります。

『校刊美術史料 寺院篇 上巻』
請求記号 T02-1-フンター1999 資料 D 11349305

南都焼き討ちは、治承四年(1181)南都を攻めよとの平清盛(よしもと)の命をうけた平重衡(しげひら)が、東大寺・興福寺を焼失させた大事件です。『平家物語』には、重衡が都に戻り着いて喜んだのは清盛のみで、建礼門院・後白河法皇・高倉天皇・摂政基通以下の人々は、「悪僧をこそほろぼすとも 伽藍を破滅すべしや」と嘆いたとあります。

(訳) たとえ悪僧を滅すとしても、寺院を破壊し滅すという法があろうか

『新編日本古典文学全集45
平家物語』請求記号 918-28-45 資料 D 111025187

『平家物語』巻五「ならゑんしやう(奈良炎上)の事」には、国の泰平のためにこの地がいかに大切な場所であったかが記されています。

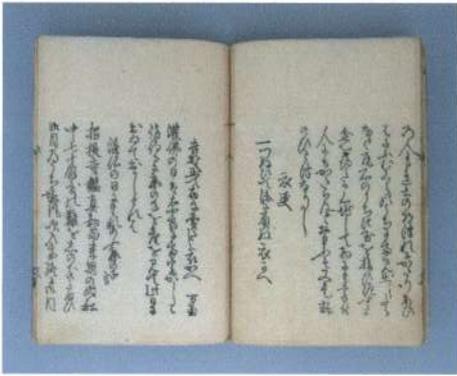


7. 東大寺大仏殿縁起
天明3年(1783)

またこの歴史的事件とその後の復興は、のちの文学・芸能作品に大きな影響を及ぼしました。重衡の亡霊の苦悩を描いた能「重衡」〔笠卒塔婆〕をはじめ、能「大仏供養」や能「安宅」をもとにした歌舞伎「勧進帳」などがあります。

時をへて、永禄一〇年(1567)東大寺はふたたび三好・松永の戦火によって焼失しました。大仏は頭部だけが応急修復され、約一〇〇年間は屋根のない露座の状態にありました。その後、公慶上人の尽力により勧進活動がおこなわれ、元禄五年(1692)に大仏が、宝永六年(1709)に大仏殿が完成し、悲願の復興を遂げます。

このとき、完成はまだかと多くの人が奈良を訪れました。松尾芭蕉もその一人です。「初雪やいつ大仏の柱立」の句が知られています。そのほかにも『野ざらし紀行』『笈の小文』など、芭蕉やその弟子たち一行は、大和めぐりをしながら多くの俳句を詠みました。



10. 笈之小文 松尾芭蕉
宝永6年(1709)

水とりや氷の僧の杓の音
春の夜や籠り人ゆかし堂の隅
灌仏の日に生まれあふ鹿の子哉
若葉して御めの雫ぬぐは、や
菊の香や奈良には古き佛たち

名所・歌枕をたずねて

吉野の桜・龍田の紅葉・梅の香りたつ月ヶ瀬……。これら大和の名所は、和歌や漢詩・歴史や物語のイメージとともに人々のあこがれの地となっていました。

月ヶ瀬には、梅を使った「烏梅」という染料を作るため、溪谷添いにたくさん梅が植えられていました。この地を名所として一気に有名にしたのが江戸時代の漢学者 斎藤拙堂です。観梅の旅で多くの漢詩を詠み、それらを掲載した本「月ヶ瀬記勝」が大変な人気となりました。冒頭には、

「何れの地にか梅無らん、何れの郷にか山水無らん。唯だ和州の梅溪のみは、花山水を挟みて奇、山水花を得て麗、天下の絶勝たり」(原文漢詩)とあります。



13. 月ヶ瀬記勝 斎藤拙堂
嘉永4年(1851)序 明治14年(1881)

(訳) どの土地にも梅はあり、景色に恵まれたところはある、しかし大和の月ヶ瀬梅溪のみが、梅花と景色の美しさを併せ持つており、天下の絶勝である。

『月ヶ瀬と斎藤拙堂』
請求記号 919.5-1サイト-2004
資料ID 111102996

これを受け、頼山陽は文人仲間を誘い、酒を携えて月ヶ瀬への旅

に出発、「和州香世界を觀るに非んば此の生何ぞ梅花を説くべけんや」(原文漢詩)と記しています。

(訳) 大和の月瀬梅溪 香世界を見ずして 人は梅花を説くことができないよ。

『月ヶ瀬と頼山陽』

請求記号 289.1-ライサ 資料D 111110667

一方、吉野を有名にしたのは平安時代末期の西行でしょうか。

鳥羽上皇に仕える北面の武士の位を捨て、出家して各地を旅した西行は、吉野の桜に関するたくさんのお歌を詠みました。晩年の

願わくば花の下にて春死なん そのきさらぎの望月のころ

の歌のとおり、如月(旧暦二月 桜の咲く頃)に亡くなったことはよく知られています。

また、花見といえは 豊臣秀吉による吉野の花見があります。

醍醐の花見に先駆け、文禄三年(1594)に開催された大規模なもので、徳川家康ら多くの武将

も参加し歌を詠んでいます。

花見の様子は『豊公観桜

記』(『金峯山寺史料集成』)・『多

聞院日記』卷四十・『文禄三年

吉野山御会御歌』(『續々群書類

從』第十四卷)・『太閤記』六編卷

之十一などに記されています。



15. 和州芳野山勝景図 貝原益軒 正徳3年(1713)

旅のたのしみ

旅の楽しみは、名所めぐりだけにとどまりません。その地の風俗や旧跡・たべものなど多岐にわたります。

『大和名所図会』には、春日担茶屋で茶を飲みながら鹿に餌をやっている客の姿が表現されています。

『西国三十三所名所図会』には、札所以外の蔵王堂の蓮華会(蛙飛び)や酒船石なども描かれ、西国巡礼だけに主眼を置いたものでなく、旅の案内記の役割を果たしたものであったと想像されます。



17. 西国三十三所名所図会 大和国八蔵王堂蛙飛修法 嘉永元年(1848)序



19. 大和名所図会 卷之一 春日担茶屋 寛政3年(1791)



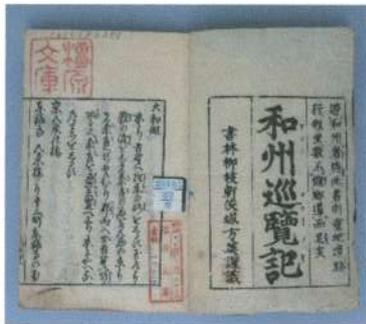
18. 西国三十三所名所図会 大和国九酒槽岩之圖 嘉永元年(1848)序



まほ
デジ 21. 改正絵入南都名所記
宝暦4年(1754)版
天保12年(1841)改



まほ
デジ 22. 和州旧跡幽考(大和名所記)
第二巻 添上郡
寛政3年(1791)



まほ
デジ 22. 大和巡(和州巡覽記)
貝原益軒 元禄9年(1696)



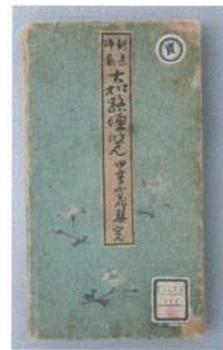
まほ
デジ 25. 大和名所独旅
江戸時代 18世紀



29. 奈良名所案内図絵
明治36年(1903)



28. 奈良名勝記
明治39年(1906)



まほ
デジ 26. 袖珍大和路便覧:一名芳山花葉
明治25年(1892)



30. 奈良と鹿
大正9年(1920)



27. 大和名所巡覽記:真景密画挿入
明治32年(1899)



32. 奈良勝地漫画(勝地漫画第五巻)
昭和11年(1936)

旅にとって土産は欠かせないものの一つです。
奈良晒や奈良酒・霰酒・墨・具足や刀・奈良団扇・饅頭・素麺な
ど、奈良の土産は多くありますが、旅の案内記そのものも土産と考
えられました。ここに旅した人の土産話が加わり、大和・奈良の印
象が多くの人に伝えられたことでしょう。
館蔵の大和案内記の一部をご紹介します。

ここに『奈良土産』（貞享四年（1687）序）という本があります。
 どんな土産が載っているのでしょうか？



【参考】奈良土産 上・中・下
 貞享4年(1687)序 明治35年(1902)再版
 請求記号(上) 912.3-ナラミ-1 資料ID 151261015

実はこの本は謡本(能の台本)に出ている物語の故事を論じた本です。これが奈良土産と称せられるほどに、奈良といえは能という認識がなされていたということでしょう。
 能楽は大和で生まれ、発展した芸能で、多くの社寺で演能が行われました。特に興福寺の薪能は江戸時代の案内記にも多く描かれています。

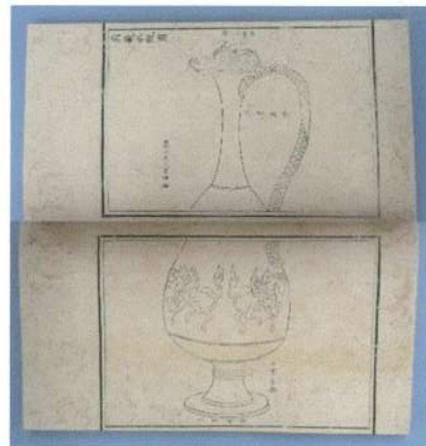
大和を題材にした能や大和国の人や神が登場する能には、次のようなものがあります(演能の少ない演目も含め)。

- 野守・飛鳥川・葛城・国栖
- 佐保山・逆矛・雲雀山・三輪
- 葛城天狗・土蜘蛛・當麻
- 三山・重衡(笠卒塔婆)・谷行
- 代主・春日龍神・忠信
- 鶏龍田・吉野天人・龍田
- 大仏供養・玉鬘・吉野静
- 采女・井筒・二人静・花筐



33. 大和名所図会 卷之三
 薪之能 寛政3年(1791)

いにしへの美をもとめて



36. 集古十種 銅器之部
 松平定信編 寛政12年(1800)序

法隆寺の
 竜首水瓶だね！



江戸時代には、古い文物を愛好する好古家と呼ばれる人々が現れ、古物の文献をあつめ、実際に足を運び、考証する学問が盛んになりました。有名な人物として、京都の藤貞幹や、老中をつとめた松平定信、本居宣長、狩谷掖斎などがいます。彼らは成果を、模写図を載せた図録としてまとめたり、それらは明治以降の古器物(考古学や美術を含めた現在という文化財)研究の礎となりました。

松平定信は『集古十種』(全八五冊)編纂のため、全国に学者を派遣し、詳細な古物調査をおこなっています。大和へは定信の家臣で画家の谷文晁が遣わされ、各地で模写をしたことが『大和巡覧画日記』に記されています。『集古十種』には仏像の項目はありません



37. 大和巡覧画日記 下(薄木家文書)
谷文晁(寛政8年(1796))
[書写年代不詳]

が、文晁は興福寺で東金堂の文殊菩薩・維摩居士を模写しています。これらは簡易な模写でありながら、よく特徴がとらえられています。

明治維新を迎えると、文明開化の一方で神仏分離令をきっかけとしたいわゆる廃仏毀釈が起こり、文化財の破壊や散逸が問題となりました。社寺の土地による経済的窮迫もこれに拍車をかけました。これを受け、明治四年(1871)五月、太政官より「古器旧物保存方」が布告されます。「旧を嫌い新を競う流弊から散逸したり毀されたりするのは惜しむべきことなので」「品名と所蔵者を記載したものの提出を命じ」、「古器旧物を保存」すべきことを求めています(『東京国立博物館百年史』より)。



38. 東京御達井規則雛形
明治四年辛未
(奈良県庁文書)奈良県指定文化財



41. 大和周遊誌 上編
鳥居武平編 明治31年(1898)



40. 奈良の落葉
博物館/黒川真頼編 明治14年(1881)

これを受け、翌明治五年には湯島で博覧会が開催され、博物館が初めて設置されるとともに、町田久成や蜷川式胤ら文部省の官僚による文化財調査がおこなわれました(壬申検査)。蜷川式胤は正倉院をはじめとした調査について『奈良の筋道』に書き記しています。

『奈良の筋道』(写真複製)
請求記号 210.08-437-1 資料ID 111015634

その後も正倉院をはじめとする文化財の調査のため、多くの文化官僚や美術研究者・画家・工芸作家らが奈良をおとずれました。

明治三十一年刊行の奈良の案内記『大和周遊誌』巻頭には、帝室博物館総長であった九鬼隆一が「美術の淵源を探る」という讃を寄せています。この「美術の淵源」という語は、同時期の奈良についての書籍に繰り返し登場します。日本にとつての美術の淵源が奈良にあるとの認識がもたれていたことが伺えます。

西欧化が進む中で、この国本来の美とは何なのかが問われた際、その気づきに大きな影響をもたらしたのが、アーネスト・フェノロサをはじめとする外国から来た人たちです。

文部省の美術事業に従事するため雇い入れられたアメリカ人フェノロサは、岡倉天心らと共に各地の美術調査を行いました。

明治二十一年(1888)六月五日、浄教寺(奈良市)で行われた講演では、奈良の人に向けて次のように語っています。

「…希臘の彫刻と奈良の彫刻は酷だ相似たるものあり又肖像の彫刻に於ても西洋の彫刻と優劣なきを以ても知るべし奈良は宗教と美術とに於ても重要な関係ある地にて此二者に就ては特に日本のみならず亞細亞全洲の中心は奈良に遺存するといふも過當にあらず亞細亞古代の美術宗教を知らんと欲するものは奈良に來らざれば探り難し正倉院の御物等を調査する時は恰かも地質学者が地層を發見する如く歴々として其徴候を得べし実に奈良は亞細亞の博物館と稱して可なるものなり然れども奈良に住居する諸君は徒に奈良をして學者の古史調査場となるに甘んずべからず宜しく更に進んで美術復古の方針となり今日を支配せざるべからず乾漆塑像の製法銅物の鑄造木造彫刻等古着の技倆を見て之を疑似するに止まらず是より一層上流に進まん事を務め目下日本の美術は實に舊時に下れる事を証明し過去を以て未來に及ぼし日本人は實に亞細亞美術の根元たる事を現はすに汲々たるべし羅馬已に歐洲の模範となれり奈良獨り亞細亞の模範となる能はざらんや亦只諸君の勉むると否とに在り…」…奈良は説が如く

歐洲の羅馬に於ると同一轍にて奈良は亞細亞に大關係を保つ地なれば奈良の諸君は宜しく大目的を立べきなり然し商業の中心は別にある故日本全國の大部分に就て支配する事能はざるならん能く古物を保存して美術の模範とすれば奈良にて製作するものは他の地にてなし得べからざるものもなし得るの便あり是れ奈良諸君の大幸福といふべきなり此大幸福を保つべき古物を保存するを知らず徒に目前の小利に眩惑して沽却するが如き弊あるは毫も其理を解せざる處なり…」

(『日出新聞』明治二十一年六月十日付「フェノロサ氏演說大意」より)

〔マイクロ〕日出新聞 明治21年4月〜8月

請求記号 070-1707-2 資料D 811006727

〔翻刻〕『日出新聞「奈良県関係記事II」』
請求記号 3164-497-17 資料D 111295506

明治九年(1876)に日本に招かれたドイツ人医師 エルヴイン・フォン・ベルツは、日本に二十九年間居住しました。その日記には、
「…奈良公園は日本で一番美しい公園だと思ふ、日光よりも好きだ。…或る春の朝、この静寂な森の小路で直ぐ側からは人懐っこい眼で鹿が眺めて居り、周囲には鶯が囀り合ひ、溢れんばかりの櫻の花と紫の藤が到る處で手招きをしてゐる時——凡そ地上にこれ以上理想的な平和な風景はあり得ない。…併しながら、公園や寺院よりも更に自分の心を惹きつけたのは貴重な美術品、殊に幾多の佛像で、木彫のものもあれば或は又唐金や多数の漆の層(乾漆)で出来たものもあり、單にその品位ある優れた形態により興味を惹くのみならず、凡そ佛教美術を理解するためには根本的の重要性を

もつものである。……奈良滞在は愈々長引くばかりだ。此處には無限に観るものがある。…」と記しています。

『大和文學巡禮』 杉浦正一郎 坪井明 共編
請求記号 910.2-スギウ-1944 資料D 111281705

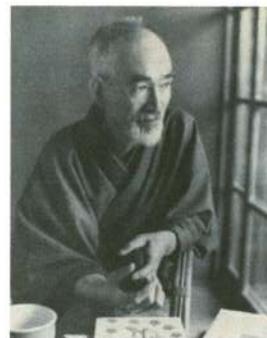
昭和八年(1933)から三年間日本に滞在したドイツ人建築家ブルーノ・タウトは、日本の伝統的な美しさに感銘し、多くの著書で日本文化について触れています。『日本襟記』(篠田英雄訳 1946年)では次のように言っています。

請求記号 704-24 資料D 151062070

「…然し奈良は、日本國民にとつては單なる博物館以上である。社寺は、日本國民の宗教的感情が集注する中心點として、或は團體で或はただ獨り参詣する聖所であるばかりではない。これらの藝術品は、日本精神即ち日本人の典型的な文化力が、支那大陸から渡來した外國の影響をいかに攝取し改鑄して自己みづからの所有にしたかといふことを如實に證明してゐるのである。それだから奈良は、現代日本にとつて特に重要な象徴であるといつてよい、今日の日本は、奈良の示した範に倣つてこそ、現在この國を混亂に陥れてゐる西歐の文明及び文化の歴倒的な影響を同化吸収して、自己みづからの文化を形づくり、かくして従屬的な状態を脱却すべき勇氣を逮得ることができるのである。…」

また、大正十四年(1925)から昭和九年(1934)まで奈良に居をかまえた小説家志賀直哉は、奈良を離れる際にこのように記しています。

「…兎に角奈良は美しい所だ。自然が美しく、残つてゐる建築も美しい。そして二つが互に溶けあつてゐる点は他に比を見ないと云つて差支えない。今の奈良は昔の都の一部分に過ぎないが、名畫の殘缺が美しいやうに美しい。御蓋山の紅葉は霜の降りやうで毎年同じには行かないが、よく紅葉した年は非常に美しい。五月の藤。それから夏の雨後、春日山の樹々の間から湧く雲。これらはいつ迄も、奈良を憶ふ種となるだらう。」



志賀直哉

出典:国立国会図書館「近代日本人の肖像」
(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)

この「奈良」と題された文章は、昭和十三年(1938)奈良県観光聯合會発行の『観光の大和』創刊号に掲載され、のちに昭和二十五年発行の『奈良』に収録されました。文章前半の「食ひものはうまい物のない所だ」という箇所ばかりが喧伝されますが、こちらの部分が文章の趣旨と思われれます。

このように奈良にやってきた人たちから、ここが「まほろば」であることに気づかされることはたくさんあります。

幾多の先人たちが守り伝えてくれた大和・奈良が、これからも「まほろば」であり続けるよう、私たちは何ができるのでしょうか。



参考文献

- ・平井良朋「近世奈良地誌小考(一)〜(四)」(『大和文化研究』第九卷八号・十一号、第十一卷十一号、第十三卷十二号 昭和39〜43年)
- ・永島福太郎「奈良見仏」(『江戸時代図誌』第一七卷 近畿一 筑摩書房 昭和52年)
- ・廣吉壽彦『大和めぐり』(岩瀬文庫本)の解題と翻刻(奈良文化女子短期大学『紀要』第27号 平成8年)
- ・山田浩之「近世大和の参詣文化―案内記・絵図・案内人を例として―」(『神道宗教』第146号 神道宗教学会 平成4年)
- ・張洋一「『大和国名所絵図屏風』について」(『堺市博物館報』第十六号 堺市博物館 平成9年)
- ・天理図書館「奈良町 江戸時代の『観光都市』を巡る」(天理大学附属天理図書館 令和元年)
- ・奈良大学ブックレット08『奈良の文学とことば』(奈良大学 2020年)
- ・廣瀬保「大和と謡曲」(『新聞に現れたる大和研究(一)』昭和6・7年)
- ・表章『能楽と奈良』(奈良市 昭和55年)
- ・藤田祥光「奈良名産史」(松本楯重 森川辰藏共編『奈良の本』1952年)
- ・長岡由美子「資料紹介『大和巡覧画日記』(前・後)」(『美術史学』12・13 1990・1991年)
- ・長岡龍作「『大和巡覧画日記』について」(東北大学附属図書館報『木這子』シリーズ貴重図書19 2000年)
- ・東野治之「『古画類聚』の成立」(東京国立博物館『松平定信 古画類聚本文篇』毎日新聞社 1990年)
- ・『東京国立博物館百年史』(東京国立博物館編 1973年)
- ・千田稔『奈良・大和を愛したあなたへ』(東方出版 2018年)

【やまとめぐり】展示ケース

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
210.3-コシキ-2	古事記 中巻	太安萬侶 [編]/[度會延佳校正]	[永田長兵衛]	貞享4 [1687] 跋 貴重書庫
210.3-ヤマト-7	日本書紀 30巻 巻第14-15	[舍人親王ほか編]	武村市兵衛昌常：村上勤兵衛元信：山本平左衛門常知：八尾甚四郎友春	寛文9 [1669] 貴重書庫
911.12-マシヨ-1	萬葉集 20巻 巻第1	橘経亮校訂/藤原以文再校	出雲寺文治郎	文化2 [1805] 貴重書庫
911.12-マシヨ-3	萬葉集 20巻 巻第3	橘経亮校訂/藤原以文再校	出雲寺文治郎	文化2 [1805] 貴重書庫
090-1-35	南都諸大寺御巡礼次第 (今西文庫. 遺品古写本:第13輯)		今西伊之吉[作成]	[19--] 貴重書庫
291.65-ヤマト-4	大和名所圖會 6巻 巻之4	秋里舜福湘夕[著]/春朝齋竹原信繁[畫]	小川多左衛門：森本太助/柳原喜兵衛：高橋平助	寛政3 [1791] 貴重書庫
188.35-トウタ	東大寺大佛殿縁起 3巻	崇憲[著]	[出版者不明]	[天明3 (1783)] 貴重書庫
913.434-ヘイケ-5	平家物語 12巻 巻第5		[出版者不明]	天和2 [1682] 貴重書庫
911.32-ハシヨ-3	芭蕉翁繪詞傳 3巻 下	蝶夢幻阿弥陀佛 [編]/狩野正榮繪/田偃武 [縮図改定]/井口保孝書	橘屋治兵衛：井筒屋庄兵衛	寛政5 [1793] 貴重書庫
915.5-オキノ	笈之小文	風羅坊芭蕉 [著]	橘屋治兵衛：浦井徳右衛門：井筒屋庄兵衛	宝永6 [1709] 貴重書庫
T-2-110	龍田川風景		前田觀泉	[明治中期以後] 貴重書庫
291.65-タツタ	龍田考	六人部是香	越後屋治兵衛：丁子屋定七：近江屋佐太郎：勝村伊兵衛/播广屋喜助：秋田屋太右衛門：河内屋和助：河内屋喜兵衛/英大助：岡田屋嘉七：須原屋茂兵衛	嘉永2 [1849] 貴重書庫
919.5-ツキカ-1	月瀬記勝 1巻附録1巻 乾	齋藤拙堂著	豊住幾之助	明治14 [1881] 貴重書庫
919.5-サンヨ-7	山陽遺稿 文集10巻詩集7巻拾遺1巻行状1巻 詩巻之4-6	頼襄子成著	河内屋茂兵衛	天保12 [1841] 貴重書庫
T-2-89	和州芳野山勝景圖	貝原篤信[記]	丸屋善兵衛	正徳3 [1713] 貴重書庫
911.138-ロツカ-1	六家集 山家和歌集上		[出版者不明]	[1---] 貴重書庫
291.6-サイコ-8	西國三十三所名所圖會 8巻 巻之6[下]	曉鐘成編輯/松川半山, 浦川公左畫圖	北畠茂兵衛：出雲寺萬次郎/片野東四郎：川瀬代助/中川勘助	[出版年不明] 貴重書庫

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
291.6-サイ コ-9	西國三十三所名所圖會 8巻 卷之7	曉鐘成編輯/松川半山, 浦川公左畫圖	北畠茂兵衛:出雲寺萬 次郎/片野東四郎:川瀬 代助/中川勘助	[出版年不 明] 貴重書庫
291.65-ヤ マト-1	大和名所圖會 6巻 卷之1	秋里舜福湘夕[著]/春 朝齋竹原信繁[畫]	小川多左衛門:森本太 助/柳原喜兵衛:高橋平 助	寛政3 [1791] 貴重書庫
291.6-サイ コ-10	西國三十三所名所圖會 8巻 卷之8	曉鐘成編輯/松川半山, 浦川公左畫圖	北畠茂兵衛:出雲寺萬 次郎/片野東四郎:川瀬 代助/中川勘助	[出版年不 明] 貴重書庫
291.65-カ イセ	改正繪入南都名所記		繪圖屋庄八	天保12 [1841] 貴重書庫
291.65-ワ シユ-2	和州舊跡幽考 20巻 第2巻	林氏宗甫[著]	[出版者不明]	天和2 [1682] 貴重書庫
291.65-ヤ マト	大和廻	貝原篤信記	柳枝軒	享保6 [1721] 貴重書庫
291.65-ヤ マト	大和古跡道のしをり	田居叟[編]	千葉清藏/小川多左衛門 /高橋平助:柳原喜兵衛	天明3 [1783] 貴重書庫
291.65-ヤ マト	大和名所独旅		いとや市兵衛	[17--] 貴重書庫
T-2-86	袖珍大和路便覧:一名芳山花葉	津久井飄々子手録	中島徳兵衛	明治25 [1892].1 貴重書庫
291.65-730	大和名所巡覧記:真景密画挿入	金沢昇平編著	大和図書出版本舗	1899.10 書庫 1
291.65-639	奈良名勝記	稲垣青丹著	筒井錦華堂	1906.2 書庫 1
291.65-649	奈良名所案内圖繪	小泉由松編	小泉由松	1903.4 書庫 1
489.85-1	奈良と鹿	八田三郎著	官幣大社春日神社春日 神鹿保護會	1920.11 書庫 1
291.65-171	奈良勝地漫画(勝地漫畫:第4巻)	菅田濱次編	勝地漫畫刊行會	1935.9 書庫 1
291.65-128	大和めぐり(勝地漫畫:第5巻)	菅田濱次郎編	勝地漫畫刊行會	1936.4 書庫 1
291.65-ヤ マト-2	大和名所圖會 6巻 卷之2	秋里舜福湘夕[著]/春 朝齋竹原信繁[畫]	小川多左衛門:森本太 助/柳原喜兵衛:高橋平 助	寛政3 [1791] 貴重書庫
768.4-カン セ-14	春日龍神/船橋/源氏供養/花筐/富士太鼓	觀世清廉訂正	檜常之助	明治42 [1909] 貴重書庫
768.4-カン セ-18	三輪/安宅/東北/蟬丸/狸々	觀世清廉訂正	檜常之助	明治42 [1909] 貴重書庫
049-7-56	集古十種 銅器之部		[出版者不明]	[1---] 貴重書庫
2-7-3	大和巡覧画日記 文晁氏 下(大和国宇陀郡稲戸村薄木家文 書)			貴重書庫
1-M4-15f	諸布達綴 明治四年四月ヨリ同九年十一月(奈良県庁文書) 堺県庶務課			書庫 1

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
1-M4-14f	東京御達並規則雛形 明治四年辛未 (奈良県庁文書)	郡山県		書庫 1
708-17	奈良の落葉		[博物館]	1881.3 書庫 1
291.65-117-1	大和周遊誌：美術淵源 上編	鳥居武平編	大和図書出版本舗	1898.6 書庫 1
291.65-ナ ラメ	奈良名所案内詞	鳥居武平編纂	購文堂	明治 25[1892]. 貴重書庫
708.7-タイ ニ-1	大日本美術圖譜 4巻 1	小杉楯邸, 横井時冬著	吉川半七	明治34 [1901] 貴重書庫
702.1-41	天心全集 [1]	岡倉天心[著]/日本美術院編	日本美術院	1922.9 書庫 1
704-24	日本襪記 (タウト著作集:7)	ブルーノ・タウト [著]/篠田英雄訳	育生社	1946 書庫 1

(雑誌)

請求記号	タイトル・巻号・特集	出版者	所在
291.65-658	観光の大和	1巻1號	1938年1 月25日 書庫 1

図書リスト

【やまとめぐり】

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
027.8-29-102	大和名所絵図巡り：一枚刷りにみる遊山風物 (天理ギャラリー:第102回展)	天理大学附属天理参考館編集	天理ギャラリー	1996.2 ふるさと*
027.8-29-167	奈良町：江戸時代の「観光都市」を巡る (天理ギャラリー:第167回展)	天理大学附属天理図書館編	天理ギャラリー	2019.5 ふるさと*
069-165-76	大和名所絵図めぐり：一枚刷りに見る、ふるさとの風物 (企画展:第76回)	天理大学附属天理参考館編	天理大学出版部	2016.4 ふるさと*
080-18-841	奈良の寺：世界遺産を歩く (岩波新書:新赤版 841)	奈良文化財研究所編	岩波書店	2003.6 書庫 1
188.35-サ カワ-2016	東大寺：境内の四季と小さな命たち	狭川普文文/木村昭彦 写真	ネイチュアエンタープ ライズ	2016.5 書庫 1*
188.595-キ ンプ-2000	金峯山寺史料集成	首藤善樹編	総本山金峯山寺/国書刊 行会 (発売)	2000.12 ふるさと
210.35-90	平城京の風景：人物と史跡でたどる青丹よし奈良の都 (古代の三都を歩く)	千田稔著	文英堂	1997.9 ふるさと
210.5-229-17	畿内 1 (江戸時代図誌:17-18)	西川幸治, 木村至宏編	筑摩書房	1977.4- 1977.10 書庫 1
216.5-241	奈良百年	松村英男編	毎日新聞社	1968.9 ふるさと
291.09-23	千山萬水 [正]	大橋乙羽著	博文館	1899- 1900 書庫 1
291.6-44	日本名勝地誌 第1編	野崎左文著	博文館(発売)	1893.11- 1901.12 書庫 1*

請求記号	書名	著者名	出版者	発行年	所在
291.65-256	大和の古道を行く(朝日カルチャーブックス:38)	池田末則著	大阪書籍	1984.8	ふるさと
291.65-311	大和路	堀辰雄等著/入江泰吉 写真	雪華社	1965.9	ふるさと*
291.65-314	奈良の旅(カッパ・ピブリア.今日の風土記:2)	松本清張,樋口清之著	光文社	1966	書庫1
291.65-518-4	奈良の冬(真珠の小箱:4)		角川書店	1979.11	ふるさと
291.65-598	古代地名紀行:大和の風土と文化	池田末則著	東洋書院	1987.2	ふるさと
291.65-イ ケタ-2003	地名研究資料集 第2巻	池田末則,鏡味明克, 江端真樹子編	クレス出版	2003.5	ふるさと
291.65-オ オミ-2012	奈良県謎解き散歩(新人物文庫)	大宮守友編著	新人物往来社	2012.4	ふるさと
291.65-キ ンセ-2008	紀行日記(近世大和紀行集:第1巻)		クレス出版	2008.1	ふるさと*
291.65-ク ワハ-2014	奈良大和路の紅葉(奈良を愉しむ)	桑原英文写真/倉橋み どり案内	淡交社	2014.10	ふるさと
291.65-セ ンタ-2024	奈良公園の案内書:極	千田稔監修/奈良県編	角川アスキー総合研究 所/KADOKAWA(発売)	2024.3	ふるさと
291.65-タ カノ-2007	古都の散策:大和の道すじに想う	高野浩二著/国土文化 研究所編	アドスリー/丸善出版事 業部(発売)	2007.1	ふるさと
291.65-ナ オキ-2008	直木孝次郎と奈良・万葉を歩く:私の歴史散歩 秋冬	直木孝次郎著	吉川弘文館	2008.10- 2009.3	ふるさと
291.65-ナ オキ-2009	直木孝次郎と奈良・万葉を歩く:私の歴史散歩 春夏	直木孝次郎著	吉川弘文館	2008.10- 2009.3	ふるさと
291.65-ナ ラケ-2008	まほろば巡礼:奈良・大和路[公文書版]	奈良県編/千田稔監修	小学館	2008.3	書庫1
291.65-ナ ラケ-2010	読み歩き奈良の本	奈良県立図書館情報館編	140B		ふるさと
291.65-ナ ラケ-2013	『古事記』の物語をあげよう旅をはじめよう(なら記 紀・万葉名所図会:『古事記』完成1300年.古事記・旅 編)	奈良県企画・編集	奈良県	2013.3	ふるさと
291.65-ナ ラケ-2016	『日本書紀』の舞台、奈良を巡る。(なら記紀・万葉名 所図会:『古事記』完成1300年.日本書紀ことはじめ編)	奈良県企画・編集	奈良県	2016.1	ふるさと
291.65-ホ ント-2007	奈良名所むかし案内:絵とき「大和名所図会」	本渡章著	創元社	2007.9	ふるさと
291.65-ホ ント-2020	図説「大和名所図会」を読む:奈良名所むかし案内	本渡章著	創元社	2020.2	ふるさと
291.65-モ リシ-2017	今昔(いまはむかし)奈良名所:古き奈良名所を訪ねる	森下恵介著	奈良新聞社	2017.1	ふるさと
291.65-モ リタ-2015	『大和名所図会』のおもしろさ(上方文庫別巻シリー ズ:5)	森田恭二編著	和泉書院	2015.4	ふるさと
361.78-コ レク	奈良とツーリズム(コレクション・モダン都市文化:63)	早川芳枝編	ゆまに書房	2010.12	書庫1

請求記号	書名	著者名	出版者		所在
383.816-タ イコ-2022	年がら年中饅頭祭：奈良と大和の和菓子巡り旅：和菓子は奈良派。	太鼓打源五郎著	京阪奈情報教育出版	2022.9	ふるさと
383.816-ト ミオ-2005	大和の食文化：日本の食のルーツをたずねて	富岡典子著	奈良新聞社	2005.9	ふるさと*
383.885-ナ ラケ-2021	うま酒の国大和：開館20周年記念特別展	奈良県立万葉文化館編	奈良県立万葉文化館	2021.10	ふるさと*
489.86-サ トウ-2022	明日、シカに会いに行こう：奈良公園でつけた幸せのかたち	佐藤和斗著	青菁社	2022.12	ふるさと
489.86-タ ナカ-2018	鹿と日本人：野生との共生1000年の知恵	田中淳夫著	築地書館	2018.7	ふるさと
489.86-ナ ラノ-2010	奈良の鹿：「鹿の国」の初めての本（あをによし文庫）	奈良の鹿愛護会監修	京阪奈情報教育出版	2010.3	ふるさと
576.97-7	古梅園墨譜	松井元泰著/松尾良樹 訳注・解説	古梅園	1993	ふるさと*
576.97-マ ツイ-2018	玄々斎随筆：墨匠・松井元泰の遺書	[松井元泰著]/竹林榮 一編	吉備人出版	2018.11	ふるさと*
596.1-85	大和の味	田中敏子著	奈良新聞社	1988.6	ふるさと
702.1-7	古都遍歴：奈良（一時間文庫）	竹山道雄著	新潮社	1954	書庫1*
704.9-1	南都逍遙	安藤更生著	中央公論美術出版	1970.12	書庫1
720.4-29	寧楽雅帖	鍋井克之著	宝書房	1947.5	ふるさと*
750.216-タ カハ-2010	大和風物誌：巡歴	高橋隆博著	関西大学出版部	2010.3	ふるさと
791.2-コウ ス-2015	奈良大和路茶の湯逍遙（しょうよう）（奈良を愉しむ）	神津朝夫著	淡交社	2015.2	ふるさと
911.1-ユラ タ-1990	大和百話：記紀・万葉から前川佐美雄まで（武蔵野文庫:12）	由良琢郎著	武蔵野書院	1990.12	ふるさと
911.125-8- 3	吉野・宇陀・室生（Suiko books:057. 奈良万葉:3）	井上博道著	光村推古書院	1999.4	書庫1
911.125-8- 4	葛城・生駒・竜田（Suiko books:058. 奈良万葉:4）	井上博道著	光村推古書院	1999.7	書庫1
911.125-ウ エノ	万葉集であるく奈良（とんぼの本）	上野誠, 蜂飼耳, 馬場 基著	新潮社	2019.10	一般資料
911.125-マ ンヨ	万葉集を旅する：令和の源と和歌の舞台へ（JTBのmook）		JTBパブリッシング	2019.10	一般資料
911.126- 17-T	萬葉紀行 [正]	土屋文明著	改造社	1943.12- 1946.9	書庫1
911.126- 23-T	萬葉紀行 續	土屋文明著	改造社	1943.12- 1946.9	書庫1
911.126- 27-1	万葉遠足 上	橋本哲二著	新潮社	1971	書庫1
911.126- 27-2	万葉遠足 下	橋本哲二著	新潮社	1971	書庫1
911.162-ア イス-2024	會津八一と大和路：入江泰吉・杉本健吉とともに：特別展	會津八一記念館編	新潟市會津八一記念館	2024.10	ふるさと*

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
911.162-モ リオ-2011	森鷗外が詠んだ「奈良五十首」の足跡	竹村照雄著	[竹村照雄]	2011.9 ふるさと
911.32-マ スタ-1953	奈良と芭蕉	増田晴天楼著	大和芭蕉遺蹟研究所	1953.3 書庫1
914.6-サ-4	若き日の旅	里見◆D9808◆著	養徳社	1947.5 書庫1
915.5-オカ タ	野ざらし紀行評釈(角川叢書:1)	尾形侑著	角川書店	1998.12 一般資料
915.5-セキ ト	歩いて旅した野ざらし紀行	関俊一著	和泉書院	1982.10 書庫1
915.6-43	旅	田山花袋著	博文館	1917.5 書庫1
915.6-59	大和路・信濃路	堀達雄著	人文書院	1954.7 書庫1
915.6-114	古都旅情	瀬戸内寂聴著	平凡社	1979.5 書庫1
915.6-141	飛鳥路	亀井勝一郎[ほか]著	人文書院	1970 ふるさと
915.6-サカ キ-2001	大和千年の路(文春新書:158)	榊莫山著	文藝春秋	2001.3 ふるさと
915.6-シハ リ	奈良散歩(司馬遼太郎『街道をゆく』)	司馬遼太郎著	朝日新聞出版	2016.2 一般資料
915.6-マエ カ-2009	大和まほろばの記(角川選書:136)	前川佐美雄著	角川書店	1982.6 ふるさと
918-28-48	中世日記紀行集(新編日本古典文学全集:48)	長崎健[ほか]校注・訳	小学館	1994.7 一般資料

【巡礼の旅】

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
080-12- 1.14.1	蜻蛉日記(岩波文庫:黄(30)-014-1)	[藤原道綱母著]/今西 祐一郎校注	岩波書店	1996.9 一般資料
080-12- 1.15.13	源氏物語4(岩波文庫:黄(30)-015-10-黄(30)-015-16)	[紫式部著]/柳井滋[ほ か]校注	岩波書店	2017.7- 一般資料
080-12- 1.16	枕草子(岩波文庫:6572-6575,黄(30)-016-1)	[清少納言著]/池田亀 鑑校訂	岩波書店	1962.10 書庫1
080-12- 4.144.1	古寺巡礼(岩波文庫:青-144-1,青(33)-144-1)	和辻哲郎著	岩波書店	1979.3 書庫1
080-12- 4.144.7	日本精神史研究(岩波文庫:青(33)-144-7)	和辻哲郎著	岩波書店	1992.11 一般資料
080-コウタ -564	藤原道長「御堂関白記」を読む(講談社選書メチエ:564)	倉本一宏著	講談社	2013.12 一般資料
080-チクマ	初版古寺巡礼(ちくま学芸文庫:[ワ15-1])	和辻哲郎著	筑摩書房	2012.4 書庫1
176.5-ノモ ト-2018	神饌:供えるところ:奈良大和路の祭り与人	野本暉房写真/倉橋み どり文	淡交社	2018.3 ふるさと
176.5-ヨシ カ-2021	宮座儀礼と「特殊神饌」:奈良県北・中部及び周辺地域 を中心に	吉川雅章著	弘文堂	2021.6 ふるさと

請求記号	書名	著者名	出版者		所在
182.1-イン へ-2010	東大寺大仏と日本思想史：大仏造立の意味を問う	磯部隆著	大学教育出版	2010.2	ふるさと
185.1-43	古寺巡礼：日本精神の風景	栗田勇著	春秋社	1990.10	書庫1
185.91-3	私の古寺巡礼(法蔵選書:10)	白洲正子著	法蔵館	1982.2	書庫1
185.91-イ ツキ-2008	奈良(講談社文庫:[い-1-60]. 百寺巡礼:第1巻)	五木寛之[著]	講談社	2008.9	ふるさと*
185.916-イ ノウ-2004	私の古寺巡礼3(知恵の森文庫)	井上靖監修	光文社	2004.10-	ふるさと
186.9-4	十一面観音巡礼	白洲正子著	新潮社	1975.12	書庫1
188.55-ハ セテ-2022	こもりくの初瀬：祈りのかたち：特別展	奈良県立万葉文化館編 集	奈良県立万葉文化館	2022.10	ふるさと*
210.08- 230-22	七大寺巡礼私記(奈良国立文化財研究所史料:第22冊)	奈良国立文化財研究所 編	奈良国立文化財研究所	1982.3	ふるさと*
210.3-532	法隆寺の里：わたしの斑鳩巡礼(旺文社文庫)	直木孝次郎著	旺文社	1984.9	ふるさと*
210.35-5	天平時代物語(小舟五部作:第4編)	木村小舟著	東亞堂	1921.6	書庫1*
210.37-フ シワ	御堂関白記：藤原道長の日記(角川文庫:15766. ビギナーズ・クラシックス/日本の古典:[SP A-3-2])	藤原道長[著]/繁田信 一編	角川学芸出版/角川グ ループパブリッシング (発売)	2009.6	書庫1
291.65-カ メイ-1968	大和古寺風物誌 改版(新潮文庫)	亀井勝一郎著	新潮社	1968.2	書庫1
291.65-セ キュ-2014	大和路の謎を解く：古代史巡礼の旅(ポプラ新書:027)	関裕二著	ポプラ社	2014.3	ふるさと*
382.165-28	旅：巡礼と参詣(特別テーマ展:平成5年度)	奈良県立民俗博物館編	奈良県立民俗博物館	1993.8	ふるさと*
702.1-77	奈良春日野	大佛次郎, 永島福太郎 文/入江泰吉写真	淡交社	1968.10	ふるさと
702.17-オ オエ-2008	七大寺日記/七大寺巡禮私記(校刊美術史料)	[大江親通著]/藤田經 世編	中央公論美術出版	1994.2	ふるさと*
702.17-ヨ キテ-2011	初瀬にますは与喜の神垣：與喜天満神社の秘宝と神像	奈良国立博物館編集	奈良国立博物館	2011.7	書庫1*
718-61	大和のかくれ仏	清水俊明著	創元社	1976	ふるさと*
718-119	仏像物語：仏はどこに、どんな姿で。：NHK「祈りの造形」	西村公朝[著]	学研	1988.3	ふるさと*
718-イトウ	見仏記 ゴールデンガイド篇	いとうせいこう, みう らじゅん著	角川書店	1998.2-	書庫1
718-イトウ	見仏記 ぶらり旅篇	いとうせいこう, みう らじゅん著	角川書店	1998.2-	書庫1
718-イトウ	見仏記ガイドブック	いとうせいこう, みう らじゅん著	角川書店/角川グルー プパブリッシング(発売)	2012.10	書庫1

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
718-ニシム -2002	古都ほとけ出会い旅 (NHK趣味悠々)	西村公朝講師	日本放送出版協会	2002.2 ふるさと*
718.1-ナラ レ-2022	観音のいます地：三輪と初瀬	なら歴史芸術文化村編	なら歴史芸術文化村	2022.4 書庫1*
718.4-オオ タ-1970	石仏山の辺	太田古朴著/清水俊明 撮影	綜芸舎	1970 書庫1*
718.4-オオ タ-1970	石仏柳生街道 増訂再版	太田古朴著/清水俊明 撮影	綜芸舎	1970.5 書庫1*
718.4-ニシ ム-1933	南都石佛巡禮	西村貞著	成光館書店	1933.8 書庫1*
721.2-リヨ ウ-2012	生まれかわり：東大寺大仏縁起絵巻より (やまと絵本)	寮美千子企画・文	長崎出版	2012.8 ふるさと*
721.2-リヨ ウ-2013	祈りのちから：東大寺大仏縁起絵巻より (やまと絵本)	寮美千子企画・文	長崎出版	2013.11 ふるさと*
748-67-1	古寺巡礼 1 大和篇 上 (土門拳全集:1-4)	土門拳著	小学館	1983.9- 1984.5 書庫1
748-67-2	古寺巡礼 2 大和篇 下 (土門拳全集:1-4)	土門拳著	小学館	1983.9- 1984.5 書庫1
911.102-ワ カフ	会津ハ一 (コレクション日本歌人選:068)	村尾誠一著	笠間書院	2019.1 一般資料
911.12-81	万葉巡礼：大和	中村一作著/入江泰吉 撮影	福角学生堂書店	1953.11 書庫1*
913.6-2437	天平の薨	井上靖著	中央公論社	1957 書庫1
914.6-サカ キ-2000	大和仏心紀行	榊莫山著	毎日新聞社	2000.4 ふるさと
915.6-56	かくれ里	白洲正子著/口絵写真: 野中昭夫	新潮社	1971.12 書庫1
915.6-198	見仏記	いとうせいこう文/み うらじゅんえ	中央公論社	1993.9 書庫1

【奈良・大和を扱った文学・芸能作品】

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
080-12- 1.23	山家集 新訂 (岩波文庫:黄-92, 362-363a, 黄(30)-023-1)	[西行著]/佐佐木信綱 校訂	岩波書店	[1956] 一般資料
080-12- 1.23.2	西行全歌集 (岩波文庫:黄(30)-023-2)	[西行著]/久保田淳, 吉 野朋美校注	岩波書店	2013.12 一般資料
080-12- 1.220.3	雨月物語 (岩波文庫:黄(30)-220-3)	上田秋成作/長島弘明 校注	岩波書店	2018.2 一般資料
080-12- 1.241.3	義経千本櫻 (岩波文庫:2025, 黄(30)-241-3)	竹田出雲〔ほか〕作 /守隨憲治校訂	岩波書店	1939 一般資料
080-12- 1.256.2	勸進帳：歌舞伎十八番の内 (岩波文庫:黄(30)-256-2)	郡司正勝校注	岩波書店	2021.5 一般資料
080-12- 2.4.3	役の行者 (岩波文庫:31-004-3, 3782)	坪内逍遙作	岩波書店	1952.6 書庫1
080-コウタ -2011	日本「聖女」論序説：齋宮・女神・中将姫 (講談社学術 文庫:[2011])	田中貴子〔著〕	講談社	2010.9 書庫1

請求記号	書名	著者名	出版者	発行年	所在
080-コウタ -2582	歌舞伎十八番集 (講談社学術文庫:[2582])	河竹繁俊 [編]	講談社	2019.9	一般資料
184.9-ヒオ キ-2020	時空を翔ける中将姫：説話の近世的変容 (ブックレット 「書物をひらく」:22)	日沖敦子著	平凡社	2020.3	ふるさと
210.08-ニ ホン	寺社と芸能の中世 (日本史リブレット:80)	安田次郎著	山川出版社	2009.4	一般資料
216.5-ナカ カ-1942	奈良聚記	仲川明, 森川辰藏編著	駸々堂書店	1942.1	書庫1*
289.1-ライ サ	月ヶ瀬と頼山陽 (月ヶ瀬叢書)	稲葉長輝著	月ヶ瀬村教育委員会	2002.3	ふるさと*
291.09-25	新山水行脚	坪谷水哉著	博文館	1868.8	書庫1
291.09-82	山水行脚	坪谷善四郎著	博文館	1911	書庫1
291.65-381	月瀬記勝	齊藤拙堂著/今中操翻 訳	月ヶ瀬梅溪保勝会	1971.12	ふるさと*
291.65-561	吉野紀行 新版 (角川選書:145)	前登志夫著	角川書店	1984.3	ふるさと*
291.65-595	歴史散歩月ヶ瀬梅林：村のむかし	稲葉長輝著	文進堂	1987.2	ふるさと
291.65-646	吉野山と太平記	NHKサービスセン ター編	吉野町経済観光課	1991.3	ふるさと*
291.65-ヒ ヤク-2022	「月瀬梅林」名勝指定100年のあゆみ	「100年のあゆみ」編集 委員会編集	名勝指定百周年記念事 業実行委員会	2022.1	ふるさと*
384.8-クマ ク	遊芸文化と伝統	熊倉功夫編	吉川弘文館	2003.3	書庫1
385.2-19	奇祭巡礼	北条秀司著	淡交社	1969	書庫1
386.165-シ カタ-2001	やまとまつり旅：奈良の民俗と芸能	鹿谷勲著	やまと崑崙企画/星雲社 (発売)	2001.10	書庫1
721.2-9-19	西行物語絵巻 (日本の絵巻:19)	小松茂美編集・解説	中央公論社	1988.10	書庫1
721.9-トミ オ-2002	月ヶ瀬と富岡鉄斎 改版 (月ヶ瀬叢書)	稲葉長輝著	月ヶ瀬村教育委員会	2002.3	ふるさと*
772.1-ホン タ-2020	近代芸能文化史における『壺坂靈験記』：生人形から浄 瑠璃、そして歌舞伎・講談・浪花節へ (シリーズ文化研 究:4)	細田明宏著	ひつじ書房	2020.2	ふるさと
772.1-モノ カ	文楽 (物語で学ぶ日本の伝統芸能:4)	平島高文監修	くもん出版	2004.4	書庫1
773-92	能楽と奈良	表章著	奈良市	1980.3	書庫1
773-シラス	お能の見方 改訂版 (とんぼの本)	白洲正子, 吉越立雄著	新潮社	2008.8	一般資料
773.2-マツ オ-2011	能：大和の世界 (物語の舞台を歩く)	松岡心平著	山川出版社	2011.5	ふるさと
773.21-ミ ホミ-2018	猿楽 (さるがく) と面 (おもて)：大和・近江および白山の 周辺から	MIHO MUSEUM編	思文閣出版	2018.3	ふるさと

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
773.4-1	大和の能面	筒井曜子, 菅居正文文/ 日弁貞夫写真	保育社	1996.4 ふるさと
773.6-3	幽玄の世界へ: 大和猿楽能の生成: 特別展	奈良県立美術館編	奈良県立美術館	1985.10 ふるさと*
774-23	義経千本桜: 歌舞伎の名舞台 (淡交ムック)	金森和子編集	淡交社	1998.3 書庫1
774-ハシモ	義経千本桜 (橋本治・岡田嘉夫の歌舞伎絵巻:2)	竹田出雲, 三好松洛, 並木千柳原作/橋本治 文/岡田嘉夫絵	ポプラ社	2005.10 一般資料
774-ハシモ	妹背山婦女庭訓 (橋本治・岡田嘉夫の歌舞伎絵巻:5)	近松半二原作/橋本治 文/岡田嘉夫絵	ポプラ社	2012.5 一般資料
787-6	釣師/釣場 (新潮文庫:B-1-1)	井伏鱒二著	新潮社	1964 書庫1
910.2-38	大和の國文學	岩城準太郎著	天理時報社	1944.2 書庫1*
910.2-97-5	西行物語 (毎日グラフ別冊. 古典を歩く:5)		毎日新聞社	1989.9 書庫1
910.2-99	大和路: 文学散歩 (カラーブックス:209)	駒敏郎著	保育社	1970.11 ふるさと
910.2-109	吉野の文学 (和泉選書:65)	大阪成蹊女子短期大学 国文学科研究室編	和泉書院	1992.6 ふるさと
910.2-124- 1996	古典文学に見る吉野: 桜トラスト運動記念講演録	片桐洋一 [ほか] 著	和泉書院	1996.4 ふるさと
910.24-29	太平記の旅	村松定孝著	人物往来社	1968.7 ふるさと*
910.26-98	文學の奈良	村井良一, 末政寂仙, 福島檀二共編	立川書店	1930.2 書庫1*
910.26-ア サタ-2001	古代の幻: 日本近代文学の「奈良」 (Sekaishiso seminar)	浅田隆, 和田博文編	世界思想社	2001.4 ふるさと
910.26-ア サタ-2002	文学でたどる世界遺産・奈良: 交錯する「古代」の記憶 と「ものがたり」の記憶、万葉から近代に連なる古都の 姿	浅田隆, 和田博文編	風媒社	2002.1 ふるさと
910.4-141	大和文学散歩		[奈良県立奈良図書館]	[1961] 書庫1*
911.04-コ ニシ-2021	詩歌とめぐる南山城・月ヶ瀬	小西亘著	濔標	2021.3 ふるさと
911.1-5	山光集	秋艸道人著	中央公論美術出版	1971.3 ふるさと
911.102-フ カフ	西行 (コレクション日本歌人選:048)	橋本美香著	笠間書院	2012.9 一般資料
911.125-5- T	大和萬葉古蹟巡禮 (新譯和歌叢書:8)	辰己利文著	紅玉堂書店	1930.10 書庫1
911.125-キ タシ-1941	萬葉集大和地誌	北島葎江著	関西急行鐵道	1941 書庫1*
911.125-ナ ラマ-2021	奈良通が選んだ奈良万葉の旅百首	奈良まほろばソムリエ の会著	京阪奈情報教育出版	2021.2 ふるさと

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
911.126-18-T	万葉集大和歌枕考	大井重二郎著	曼陀羅社/スズカケ書店 (発売)	1933 書庫 1
911.162-69	鷗外「奈良五十首」の意味(笠間選書:45)	平山城児著	笠間書院	1975.10 ふるさと*
911.162-モ リオ-2015	鷗外「奈良五十首」を読む(中公文庫:[ひ33-1])	平山城児著	中央公論新社	2015.10 ふるさと*
911.168-52-T	黒檜(多磨叢書:第7篇)	北原白秋著	八雲書林	1940 書庫 1
911.168-98	鹿鳴集	會津八一著	創元社	1940.5 書庫 1
911.168-114	天平雲:歌集	前川佐美雄著	天理時報社	1942.3 書庫 1*
911.168-ア イス-1924	南京新唱 3版	秋草道人著	春陽堂	1924.12 書庫 1*
911.168-ア イス-1969	自註鹿鳴集(新潮文庫:青-32, B-4-1)	會津八一著	新潮社	1969 ふるさと*
911.308-2-1	芭蕉全集(俳諧文庫:第1編)	松尾芭蕉[著]/老鼠堂 永機,阿心庵雪人校訂	博文館	1897.9 書庫 1*
911.32-マ ツオ	松尾芭蕉(21世紀日本文学ガイドブック:5)	佐藤勝明編	ひつじ書房	2011.10 一般資料
912.5-6	世話狂言傑作集 第1巻	河竹繁俊,濱村米藏, 渥美清太郎共編	春陽堂	1925.1- 1926.7 書庫 1
913.36-67-12	玉鬘(国文学解釈と鑑賞 別冊. 源氏物語の鑑賞と基礎知識:No.12)	平田喜信編	至文堂	2000.10 書庫 1
913.6-8	奈良飛鳥園	島村利正著	新潮社	1980.3 書庫 1
913.6-21-T	吉野葛(創元選書:26)	谷崎潤一郎著	創元社	1939.10 書庫 1
913.6-65	木像	上司小剣著	今古堂書店	1911.1 書庫 1
913.6-4491	奈良:短篇集	池田小菊著	全国書房	1943.9 書庫 1*
913.6-6433	奈良	池田小菊著	全国書房	1943.9 書庫 1*
913.6-シマ-9	奈良登大路町	島村利正著	新潮社	1972.5 書庫 1
913.6-ミナ カ	壺坂幻想(河出文庫)	水上勉著	河出書房新社	1980.12 書庫 1
915.5-2	菅笠日記:現代語訳	本居宣長[原著]/三 嶋健男,宮村千素著	和泉書院	1995.2 ふるさと
915.5-8	甲子吟行	松尾芭蕉[著]	明治書院	1932.1 書庫 1
915.6-52	芭蕉巡礼(随筆芭蕉:第4巻)	荻原井泉水著	春秋社	1955.11 書庫 1
915.6-148	寺の瓦:旅中日記	志賀直哉[ほか]著	中央公論社	1971.2 書庫 1

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
918-9-9	西行・山家集(現代語訳日本の古典:9)	井上靖[著]	学習研究社	1981.7 書庫1
918-10-41	松尾芭蕉集(日本古典文学全集:41)	松尾芭蕉[著]/井本農一, 堀信夫, 村松友次 校注・訳	小学館	1972.6 書庫1
918-13-94	明治紀行文文学集(明治文学全集:94)	福田清人編	筑摩書房	1974.1 書庫1
918-28-22	源氏物語3(新編日本古典文学全集:20-25)	[紫式部著]/阿部秋生 [ほか]校注・訳	小学館	1994.3-1998.4 一般資料
918-28-77	浄瑠璃集:仮名手本忠臣蔵・双蝶蝶曲輪日記・妹背山婦女庭訓・碁太平記白石断(新編日本古典文学全集:77)	鳥越文蔵[ほか]校注・訳	小学館	2002.10 一般資料
918.6-8-1	斑鳩物語(養徳叢書:日本篇 第1)	高浜虚子著	養徳社	1948.5 書庫1
918.6-304-10	歌集5(白秋全集:6-12)	北原白秋著	岩波書店	1985-1986 一般資料
918.6-439-35	奈良(ふるさと文学館:第35巻)	河野仁昭責任編集	ぎょうせい	1994.9 一般資料
918.6-441-25	定本花袋全集 第25巻	田山録弥著/定本花袋全集刊行会編	臨川書店	1993.4-1995.9 一般資料
918.6-495-8	山鳩/朝の試写会(志賀直哉全集:第8巻)	志賀直哉著	岩波書店	1999.7 一般資料
918.68-22-16	藤村全集 新装版第16巻	島崎藤村著	筑摩書房	1973-1974 書庫1
918.68-ナツメ	俳句・詩歌(定本漱石全集:第17巻)		岩波書店	2019.1 一般資料
919.5-サイト-2004	月ヶ瀬と斎藤拙堂(月ヶ瀬叢書)	稲葉長輝著	月ヶ瀬村教育委員会	2004.3 ふるさと*
919.5-ムラタ-2002	江戸後期月ヶ瀬観梅漢詩文の研究:文化・文政期より幕末に至る	村田榮三郎著	汲古書院	2002.11 ふるさと
919.6-ホント-2004	月ヶ瀬と本田種竹(月ヶ瀬叢書)	稲葉長輝著	月ヶ瀬村教育委員会	2004.12 書庫1*
930.268-ハンラ	古事記と小泉八雲(日本人の原風景:1)	池田雅之, 高橋一清編著	かまくら春秋社	2013.3 一般資料

【いにしへの美を求めて】

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
069-89-1	東京国立博物館百年史[本編]	東京国立博物館編	第一法規	1973.3-4 ふるさと*
069-89-2	東京国立博物館百年史 資料編	東京国立博物館編	東京国立博物館	1973.3 ふるさと*
080-18-953	博物館の誕生:町田久成と東京帝室博物館(岩波新書:新赤版 953)	関秀夫著	岩波書店	2005.6 書庫1
081-42-34	観古雑帖/埋麝發香(覆刻日本古典全集)	正宗敦夫[ほか]編纂校訂	現代思潮社	1979 書庫1
188.55-ムロウ-2015	室生寺	三好和義著	クレヴィス	2015.2 ふるさと*

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
210.02-コ クカ	近世の好古家たち：光圀・君平・貞幹・種信	國學院大學日本文化研 究所編	雄山閣	2008.2 書庫1
210.02-コ クリ	いにしえが、好きっ!：近世好古図録の文化誌：企画展示	国立歴史民俗博物館編	国立歴史民俗博物館	2023.3 書庫1
210.08- 433-0608	壬申検査社寺宝物図集（[東京国立博物館所蔵史料]:0608）	蜷川式胤[作成]	小林写真工業(作製)	1996(作 製年) ふるさと*
210.08- 437-1	奈良の筋道 1 ([東京国立博物館所蔵史料])		小林写真工業(作製)	1996(作 製年) ふるさと*
210.08- 437-2	奈良の筋道 2 ([東京国立博物館所蔵史料])		小林写真工業(作製)	1996(作 製年) ふるさと*
210.08- 437-3	奈良の筋道 3 ([東京国立博物館所蔵史料])		小林写真工業(作製)	1996(作 製年) ふるさと*
216.5-シキ シ-2019	しきしまの大和へ：奈良県立橿原考古学研究所附属博物 館蔵品巡回特別展		東京新聞	2019.10 ふるさと*
289.1-1452	収集家一〇〇年の軌跡：水木コレクションのすべて：企 画展示	国立歴史民俗博物館編	国立歴史民俗博物館	1998.10 ふるさと
289.1-オカ ク	いま天心を語る：東京藝術大学創立一二〇周年岡倉天心 展記念シンポジウム	「岡倉天心-芸術教育 の歩み-」展実行委員 会編	東京藝術大学出版会	2010.3 書庫1
289.1-セキ ノ	関野貞日記	[関野貞著]/関野貞研 究会編	中央公論美術出版	2009.2 書庫1
289.1-ニナ カ-2024	蜷川式胤椎の落葉	蜷川式胤 [著]/米崎清 実編著	中央公論美術出版	2024.9 ふるさと
291.65-63	大和巡礼：史蹟と古美術	小島貞三著	大和史蹟研究会	1955 書庫1*
291.65-411	美しきものとの出会い	井上靖著	文藝春秋	1973 書庫1
377.37-6- 1.1	東京芸術大学百年史 東京美術学校篇 第1巻	東京芸術大学百年史編 集委員会編	音楽之友社	1987- 書庫1
521.81-38	木に学べ：法隆寺・薬師寺の美	西岡常一著	小学館	1988.3 ふるさと*
521.81-ニ シオ-2010	法隆寺：世界最古の木造建築（日本人はどのように建造 物をつくってきたか）	西岡常一、宮上茂隆著/ 穂積和夫イラスト	草思社	2010.3 ふるさと
526.1-13	日本の建築と藝術 上巻	關野貞著	岩波書店	1940.6 書庫1
702-29	日本美術史研究	濱田耕作著	座右寶刊行會	1940.12 書庫1
702.1-178	奈良美術の系譜	小杉一雄著	平凡社	1993.6 ふるさと
702.1-スス キ	好古家たちの19世紀：幕末明治における《物》のアルケ オロジー（シリーズ近代美術のゆくえ）	鈴木廣之著	吉川弘文館	2003.10 書庫1
702.1-ツシ ノ	日本美術の歴史 補訂版	辻惟雄著	東京大学出版会	2021.4 一般資料
702.1-ナラ ケ-1988	日本美術と鹿：開館25年記念特別展	奈良県立美術館編	奈良県立美術館	c1998 ふるさと*
702.13-5	正倉院への道	松本清張編	日本放送出版協會	1981.11 ふるさと

請求記号	書名	著者名	出版者	所在	
702.13-19	奈良美術史入門：鑑賞のてびき	笠井昌昭,中村二柄,小川光暘著	飛鳥園	1960	ふるさと*
702.13-20	奈良の美術をたずねて(創元手帖文庫)	岡田清著	創元社	1960.7	ふるさと
702.13-オ オハ	奈良美術成立史論	大橋一章著	中央公論美術出版	2009.1	書庫1
702.13-マ チタ-1978	奈良古美術断章 増補版	町田甲一著	有信堂	1978.8	書庫1
702.135-2	天平芸術の工房(教育社歴史新書:日本史 32)	武者小路穰著	教育社	1981.2	書庫1
702.135-セ キネ-1994	正倉院への道：天平美術への招待	関根真隆著	吉川弘文館	1991.4	書庫1*
702.135-タ ナカ	天平のミケランジェロ：公麻呂と芸術都市・奈良(叢書日本再考)	田中英道著	弓立社	1995.9	書庫1
702.17-3	法隆寺とパルテノン：西洋美術史の眼で見た新・古寺巡礼	田中英道著	祥伝社	2002.4	ふるさと
702.17-ニ ナカ-2005	蜷川式胤奈良の筋道	[蜷川式胤原著]/米崎清実[著]	中央公論美術出版	2005.2	ふるさと
708.7-ナラ ケ-2025	特別展「大和の美～古都を彩った絵師たちの競演」	奈良県立美術館編集	奈良県立美術館	2025.1	ふるさと*
708.7-ニホ ン	日本の「美」の源流をたずねて：東京藝術大学創設130周年(日本藝術の創跡:2017年度版 22)		クオリアート	2017.11	書庫1
709.1-スス キ-2002	文化財と近代日本	鈴木良,高木博志編	山川出版社	2002.12	ふるさと*
709.1-トウ キ	写された国宝：日本における文化財写真の系譜	東京都写真美術館企画・監修	[東京都写真美術館]	2000.11	書庫1
709.165-ナ ラシ-2007	なぜ?なぜ?奈良の世界遺産：小学生のしつもんばこ：平城遷都1300年記念	奈良市教育委員会文化財課監修・執筆/奈良市写真美術館,入江泰吉記念美術財団編集	奈良市写真美術館：入江泰吉記念美術財団	c2007	ふるさと
710.4-9	奈良の美術	小林剛著	東京創元社	1958.11	ふるさと*
712.1-10	天平彫刻(小山美術新書:第1)	児島喜久雄[ほか]編	小山書店	1948	書庫1*
718-アイ ス-2022	仏像の美：飛鳥園と會津八一：飛鳥園創業100年：2022年度特別展	會津八一記念館編	新潟市會津八一記念館	2022.10	ふるさと*
718-ニイ ロ-2003	仏像修理五十年：新納忠之介五十回忌記念	美術院[編]	美術院	2003.4	ふるさと*
721.9-イ ハラ	天心の思い描いたもの：ぼかしの彼方へ：岡倉天心没後100年記念展	茨城県近代美術館編	茨城県近代美術館	c2014	書庫1
740.21-オ カワ	帝国の写真師小川一眞	岡塚章子著	国書刊行会	2022.4	一般資料
748-25	やまと余情：入江泰吉の世界	入江泰吉[写真]/奈良市写真美術館編	奈良市写真美術館：入江泰吉記念写真美術財団/光村推古書院(発売)	2000.10	書庫1*

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
748-イリエ-2005	入江泰吉大和路巡礼 愛蔵版	入江泰吉著	小学館	2005.11 ふるさと
750.216-オカモ-2000	大和古物散策	岡本彰夫著	ペリかん社	2000.1 ふるさと
750.216-オカモ-2010	大和古物拾遺	岡本彰夫著	ペリかん社	2010.11 ふるさと*
750.216-オカモ-2016	大和のたからもの(奈良を愉しむ)	岡本彰夫著/桂修平写真	淡交社	2016.3 ふるさと
756.8-オカモ-2003	大和古物漫遊	岡本彰夫著	ペリかん社	2003.2 ふるさと
759-40	奈良人形:その歴史と伝統	浅井允晶著	奈良市	1982.3 ふるさと
910.26-イリエ-2007	入江泰吉と奈良を愛した文士たち	ならまち振興財団, 入江泰吉記念奈良市写真美術館編	ならまち振興財団:入江泰吉記念奈良市写真美術館	2007.10 ふるさと
913.6-ナカタ-2006	工藤利三郎:国宝を撮した男・明治の写真師	中田善明著	向陽書房	2006.9 ふるさと
918-13-38	岡倉天心集(明治文学全集:38)	亀井勝一郎, 宮川寅雄編	筑摩書房	1968.2 書庫1

【奈良を愛した人々】

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
188.3-2	雑華嚴浄	上司海雲編	雑華乃菌発行所	1943.10 書庫1*
188.35-32	古都鑽仰	上司海雲著	実業之日本社	1973.4 ふるさと
188.35-ホリイ-2004	東大寺史へのいざない	堀池春峰著/東大寺史研究所編	昭和堂	2004.4 ふるさと
210.3-ヤスタ-2013	ふるさとなる大和:日本の歴史物語	保田與重郎著	展転社	2013.10 ふるさと*
210.5-255-29	ふるさとの人と知恵奈良(人づくり風土記:全国の伝承江戸時代:聞き書きによる知恵シリーズ:29)	石川松太郎, 稲垣史生, 加藤秀俊編纂/廣吉壽彦[ほか]執筆	農山漁村文化協会	1998.12 ふるさと
216.5-92	奈良百題	高田十郎著	青山出版社	1943.7 書庫1*
216.5-141	奈良風土記(芸能叢書:3)	井川定慶著	河原書店	1941 書庫1*
216.5-538	奈良:新装版(日本歴史叢書)	永島福太郎著	吉川弘文館	1996.4 ふるさと
289.1-990	考古学の殉教者:森本六爾の人と学績	浅田芳朗著	柏書房	1982.12 書庫1
289.1-カワシ-2007	川路聖謨:幕末の奈良奉行 再版	木村博一[著]	川路聖謨を讃える会	2007.3 ふるさと
289.1-ミスキ-2008	水木十五堂小伝	松藤貞人著	やまと崑崙企画/星雲社(発売)	2008.4 ふるさと*
291.65-236	志賀直哉と奈良:暮らしと思想	村田平著	豊住書店	1982.2 書庫1*

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
291.65-345	日本の旅：新編 10:奈良	座右宝刊行会編	小学館	1969-1971 ふるさと
291.65-616	奈良閑話 [正]	喜多野徳俊著	近代文藝社	1988.1-1998.4 ふるさと
291.65-イリエ-2011	昭和の奈良大和路：入江泰吉の原風景：昭和20～30年代	入江泰吉写真/入江泰吉記念奈良市写真美術館編	光村推古書院	2011.8 ふるさと
291.65-センチタ-2018	奈良・大和を愛したあなたへ	千田稔著	東方出版	2018.1 書庫1*
291.65-ニシヤ-2015	語りだす奈良：118の物語	西山厚著	ウェッジ	2015.10 ふるさと
291.65-ニシヤ-2019	語りだす奈良ふたたび	西山厚著	ウェッジ	2019.6 ふるさと
291.65-ニシヤ-2024	1300年のたからもの (語りだす奈良:[3])	西山厚著	ウェッジ	2024.5 ふるさと
386.8-ヤマタ-1978	大和の年中行事 4版	山田熊夫 [ほか]共著	奈良新聞社	1978.9 ふるさと*
388.165-6	子供のための大和の伝説	仲川明著	大和タイムス社	1970.4 ふるさと
499.87-ヤクソ-2015	薬草の博物誌：森野旧薬園と江戸の植物図譜 (Lixil booklet)	住友和子編集室, 村松寿満子編集	LIXIL出版	2015.12 ふるさと*
708-86	志賀直哉の空想美術館：文豪と美の交遊：特別展	奈良県立美術館編	奈良県立美術館	1996 ふるさと*
721-78	幻想奈良	杉本健吉著	求龍堂	1967.9 書庫1*
728.04-25	大和慕情	榊莫山著	本阿弥書店	1991.4 書庫1
728.21-アイズ-2015	日吉館をめぐる文化人：會津八一と奈良	早稲田大学會津八一記念博物館, 金志虎編集	早稲田大学會津八一記念博物館	2015.10 ふるさと*
728.216-アイズ-1999	春日野會津八一と杉本健吉：心に響く歌・書そして絵	會津八一記念館編	會津八一記念館	1999.7 書庫1*
748-イリエ-2002	入江泰吉・杉本健吉・須田剋太三人展：東大寺観音院に集った日々の作品：大和礼讃：開館10年記念	入江泰吉 [撮影]/杉本健吉, 須田剋太 [画]/奈良市写真美術館, 入江泰吉記念写真美術財団編	奈良市写真美術館：入江泰吉記念写真美術財団	[2002] ふるさと*
910.26-6	志賀直哉、上高畑の『サロン』をめぐる考察：生きられた日本の近代	呉谷充利著	創元社	2003.3 ふるさと
910.268-シカナ-1980	志賀直哉と奈良の旧居：住居と思想	村田平 [著]	村田平	1980.6 ふるさと*
911.1-2	カラー會津八一鹿鳴集奈良	宮川寅雄編/入江泰吉写真	淡交社	1975 ふるさと
911.162-アイズ	會津八一 (新潟県人物小伝)	喜嶋奈津代著	新潟日報メディアネット	2025.4 一般資料
911.162-アイズ-2006	會津八一と奈良：いにしへの都のかおり：會津八一没後50周年記念特別展	新潟市會津八一記念館編	新潟市會津八一記念館	2006.10 ふるさと*

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
911.168-ア イス	秋艸道人会津八一美の彷徨	会津八一 [著]/会津八一記念館編	新潟日報事業社	2012.5 一般資料
911.168-ア イス-1989	会津八一と奈良	小笠原忠編著	宝文館出版	1989.6 書庫 1
911.168-ア イス-1992	会津八一と奈良：歌と書の世界	西世古柳平著/入江泰吉写真	二玄社	1992.10 書庫 1 *
913.6-テク ネ-2016	桜奉行：幕末奈良を再生した男川路聖謨	出久根達郎著	養徳社	2016.11 ふるさと
914.6-979	奈良：わがふるさとの・・・	上司海雲, 高橋立州人著	中外書房	1960.3 書庫 1 *
914.6-1310	晴歩雨眠	吉村正一郎著	朝日新聞社	1972 書庫 1
914.6-1456	紫山水谷川忠麿遺稿 限定版	前川佐美雄編	水谷川忠麿遺稿集刊行会	1971.9 ふるさと *
915.6-247	まほろばの国を尋ねて：奈良(日本随筆紀行:第18巻)	会津八一 [ほか] 著	作品社	1987.2 ふるさと *
918.68-ナ オキ	中短篇小説集 [正]上 (直木三十五全集:12-13, 20)	[直木三十五著]	示人社	1991.7 書庫 1

【奈良に美を見い出した人たち】

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
081.8-72-4	岡倉天心全集 4	岡倉天心著/隈元謙次郎 [ほか] 編集	平凡社	1979-1981 書庫 1
210.1-9-1	日本文化史 上	G.B.サンソム著/福井利吉郎訳	創元社	1951-1952 書庫 1
210.6-カイト	異邦人の見た近代日本 (懐徳堂ライブラリー:3)	懐徳堂記念会編	和泉書院	1999.10 書庫 1
291.65-721	日本文明揺籃の地：ロシア人の見た「奈良」	G.E. コマロフスキー著/岡林宏侃訳	善本社	1996.11 ふるさと
520.4-11	ニッポン	ブルーノ・タウト著/平居均譯	明治書房	1934.5 書庫 1
702.1-23	不滅の日本芸術	ラングドン・ウォーナ著/寿岳文章訳	朝日新聞社	1954.2 書庫 1
702.1-39	日本の藝術 (タウト著作集:6)	ブルーノ・タウト著/篠田英雄譯	育生社	1946.10 書庫 1
702.1-163	フェノロサ美術論集	アーネスト・F・フェノロサ著/山口静一編	中央公論美術出版	1988.9 書庫 1
702.1-173	奈良県を中心としたフェノロサ関係資料目録	奈良県立美術館[編]	奈良県立美術館	1991 書庫 1 *
702.1-ナラ ケ-2015	奈良礼賛：岡倉天心、フェノロサが愛した近代美術と奈良の美：特別展	奈良県立美術館編	奈良県立美術館	2015.4 書庫 1 *
702.16-3	フェノロサと明治文化	栗原信一著/倉田文作監修	六芸書房	1968.6 書庫 1
702.16-オ カク	岡倉天心：日本文化と世界戦略	ワタリウム美術館編集	平凡社	2005.6 書庫 1
702.16-オ カク	岡倉天心：近代美術の師 (別冊太陽, 日本のこころ:209)	古田亮監修	平凡社	2013.7 一般資料

請求記号	書名	著者名	出版者	所在
702.16-ヨ シタ	「日本美術」の発見：岡倉天心がめざしたもの（歴史文化ライブラリー:317）	吉田千鶴子著	吉川弘文館	2011.4 一般資料
702.2-3-1	東亞美術史綱 再版 第1巻（日本文化名著選:第1輯）	フェノロサ著/有賀長雄譯註	創元社	1938- 書庫1
702.2-34-1	東洋美術史綱 上	アーネスト・F.フェノロサ著/森東吾訳	東京美術	1978-1981 書庫1
702.33-5	ア-ネスト・フランシスコ・フェノロサ：東洋美術との出会い	久富貢著	中央公論美術出版	1980.10 書庫1
704-44	日本美術の恩人たち	矢代幸雄著	文芸春秋新社	1961.9 書庫1
712.1-48	推古彫刻	ラングドン・ウォーナー,ロレーヌ・ド・ウォーナー[共著]/寿岳文章訳	みすず書房	1958 ふるさと*
910.2-スキ ウ-1944	大和文學巡禮	杉浦正一郎, 坪井明共編	天理時報社	1944.4 書庫1*

「貴重書庫*」「書庫1*」「ふるさと*」は貸出できない資料です。

奈良県立美術館特別展「奈良のモダン～美術をめぐる人々」関連展示
「やまとめぐりーあこがれの奈良ー」

図録・図書リスト

令和8年(2026)1月6日 発行

